

広報

8

2014/ August
No.113

しおばら

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

至極の逸品 召し上がれ

7月7日から販売がスタートした比婆牛。市内3店舗で購入できます。ぜひ逸品の味わいをご賞味ください。(関連記事2～11ページ)



Shobara Kikkou Park
Chef de Cuisine
K. Okubo

2 特集 比婆牛復活への軌跡

—和牛産地 牛都庄原の再構築を目指す—

12 ふるさと大使に西田篤史さん

13 フェイスブックページ

「庄原いちばん ええね！」を開設しました

14 終戦から69年 若者に託す平和への思い

16 リフレッシュハウス東城木質チップボイラーを木質ペレット仕様に改修し再稼動

17 木質バイオマス利活用プラント整備事業グリーンブレイズ補助事業継承を断念

18 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金申請受付中／母子保健だより

19 健康広場

20 市政トピックス
／安心・安全な毎日のために

22 カメラレポート

25 お知らせ



「歴史」 History

和牛改良の礎、最古の蔓牛「岩倉蔓」発祥の地
和牛改良の祖「岩倉六右衛門」



岩倉紋／
六右衛門の子
孫で岩倉重視
氏の蔵紋

全国和牛登録協会が認定している最古の4大蔓牛のひとつ「岩倉蔓」。これを作り上げたのは旧比和村に住む畜産家・岩倉六右衛門だった。

江戸・明治時代(1818-1896年)に生きた六右衛門は、牛の品種改良を志し、天保14年(1843年)に地元の優良な雌牛をもとにして、血統の優れた蔓牛を作り上げた。遺伝学も生まれていなかった幕末に、近親交配を重ねて家畜の育種(※)を凶ろうと考えた驚異の着想を持っていたのである。

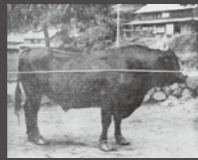
この六右衛門の考えと技術は、明治31年に設立された三上・恵蘇郡畜牛改良組合(同年に比婆郡畜牛改良組合に名称変更)に受け継がれ、あづま蔓の誕生へと結びついていくのである。

※育種・・・生物の遺伝質を人工的に変えて、一段と利用価値の高い新しい型のものを作り出すこと。

「伝統」 Tradition

今なお受け継がれる、比婆血統の系譜
「あづま蔓」の誕生と改良

あづま蔓始祖牛
第10野田屋号



明治時代には帝釈村(現東城町帝釈)で岸万四郎が造成した「有実蔓」が名声を博していた。この有実蔓の父系を辿ると、岩倉蔓に辿り着く。この両蔓の遺伝子を集積する形で、大正7年に誕生したのが「第10野田屋」号である。この「第10野田屋」号の遺伝子を用いた改良を進めるため、昭和23年に「あづま蔓造成組合」が発足。ここから近代的な集団育種事業が開始され、新たに誕生したのが比婆牛の基礎となる「あづま蔓」なのである。

「実績」 The bright results

岩倉蔓を祖とする系統牛の名声
畜産業界最高栄誉を浴す

天皇杯



改良が進んだ「あづま蔓」は、名牛と呼ばれる牛を輩出していく。全国和牛登録協会が第1号として育種登録した、満24歳9カ月と長寿の「第21深川」号や、本牛と生まれた子牛ともに共進会(※)の成績が優れた「第38の1岩田」号などが誕生。和牛のオリンピックと呼ばれる全国和牛能力共進会で次々と優秀な成績を収めたことで、比婆牛の名声は一気に全国に轟いた。そして、優秀な種牛として全国に広がり、和牛の改良に大きく貢献している。

●主な成績

- 第1回全国和牛共進会(昭和28): 名誉総裁高松宮杯、農林大臣賞
- 第3回全国和牛能力共進会(昭和52): 農林大臣賞
- 第4回全国和牛能力共進会(昭和57): 内閣総理大臣賞
- 第5回全国和牛能力共進会(昭和62): 内閣総理大臣賞
- 農林水産祭(昭和63): 天皇杯受賞

※共進会・・・牛の品評会。



「第38の1岩田」号(中央)の飼育風景(昭和20年代)
場所は現在の市役所比和支所前

【特集】

比婆牛

復活への軌跡

かつて、この庄原には
日本一の称号を得た和牛が存在した
その名は「比婆牛」
最古の蔓牛とされる「岩倉蔓」
それからなる和牛改良の歴史
今なお受け継がれる伝統
そして、これらの系統牛が示してきた実績
現代和牛のルーツがここにある
低迷する和牛畜産業界にあって
本市の和牛畜産の活況を取り戻す切り札になる――
比婆牛復活への軌跡を描く

最古の4大蔓牛

ト蔵蔓
島根県仁多郡
(1855年)

周助蔓
兵庫県美方郡
(1845年)

竹の谷蔓
岡山県阿哲郡
(1830年)

岩倉蔓
(1843年)

～和牛産地 牛都庄原の再構築を目指す～



全国農業協同組合連合会
広島県本部 畜産部長

あん どう しげ たか
安藤重孝 さん

プロフィール
1984年に広島県経済連に入会し、畜産部養鶏課に配属。98～99年の2年間食肉販売事業を経験。2010年に全農広島県本部畜産部鶏卵課長、12年に同畜産部次長兼畜産課長に就任。14年から現職。入会以来、採卵鶏の生産指導と販売事業を中心とした業務を実施している。趣味は熱帯魚飼育（ブリーダー）。48歳

比婆牛の「価値」と「可能性」に迫る



大正天皇の御大葬の儀に轎車（霊柩車）の牽引牛として、比婆牛と神石牛が選抜された。そのときに身に付けた装具

松坂、神戸、米沢……。これらは言わずと知れた全国に名だたる和牛ブランドだ。
一方、私たちに馴染みがある「広島牛」は、全国的に認知度が高いブランド牛とは言えない。それはなぜなのか。そして、なぜ広島血統に着目したのか。全国農業協同組合連合会広島県本部畜産部長の安藤重孝さんに話を聞いた。

役牛から肉用牛への転換

広島県はかつて比婆牛や神石牛が一斉を風靡し、全国に誇れる大産地でした。

もともと牛は、荷の運搬や農耕作業に重宝されてきた動物（役牛）で、性質が温順で足腰が強く、扱いやすいものが重視されていました。それが「あ

づま蔓」です。

ですが、1950年代に入り、農業用機械が普及したことで和牛の役目が肉用牛に転換し、和牛の飼養頭数も急激に減少しました。この転換は同時に、畜産を含めた農業従事者から会社勤めのサラリーマンを増やす要因にもなりました。工業地帯のあった広島県では多くの人が働き方を変え、和牛産地としての規模が縮小していったのです。

消費県というチャンスがある

にはない輝かしい歴史と伝統があります。ここを磨き上げることで価値を見出し、価格競争から価値競争へと転換することで、生き残ることができるのではないかと。それが広島血統の取り組み「比婆牛の復活」です。

ただ、比婆牛復活のためには庄原視点を踏んで、県内を見渡す必要があります。広島牛は比婆牛と神石牛の血統を掛け合わせてきているので、この2系統を財産に位置付けて、これを軸に広島血統「元就」をまず立ち上げました。

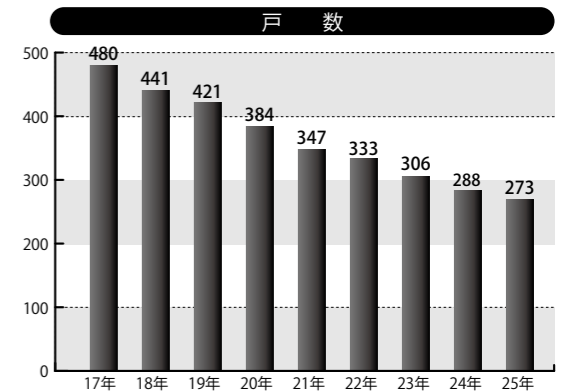
広島和牛血統承認制度を活用した県域和牛ブランドとして「元就」を、これと連動する形で「比婆牛」と「神石牛」を地域ブランドとして育てることで、県内和牛の底上げが図れるものと期待しています。

広島県は消費県だという強みを生かさない手はありません。人口は250万人前後で牛肉消費量は年間約1万1千～2千頭くらいです。県内の出荷頭数が4千頭弱なので、県内産の牛肉が3分の1しか供給されていない計算です。残りは他県産が占めており、それだけ売り込めるチャンスがあります。

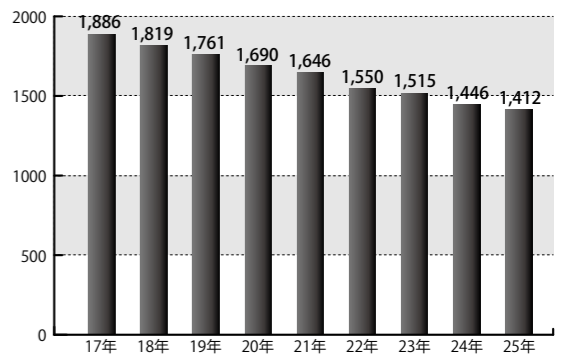
今こそ、広島県の和牛関係者一丸となって広島血統のブランド牛を復活させる契機。「比婆牛」復活が、和牛産地の維持発展への大きな一歩になることを願います。

※育種種：種雄牛（父牛）繁殖雌牛（母牛）の産んだ子牛の枝肉成績をもとに推定される遺伝的能力を数値で示したものです。

庄原市内の和牛飼育農家戸数と飼育頭数（平成17年～平成25年）



繁殖雌牛頭数



大産地が主流の価格競争

今、和牛業界では、鹿児島や宮崎などの九州産の和牛が席卷しています。それは、全国的に育種価（※）の高い種雄牛の精液利用が普及したからです。牛は「経済動物」ですので、和牛畜産農家としては、できるだけ高い値段で購入してもらいたい。それには、脂肪交雑いゆる「サシ」が入りやすく、体型的に大きくなる種が好まれます。また、市場からは安定した量と規格がそろうものが好まれるため、この両面で九州産に押される形になっています。

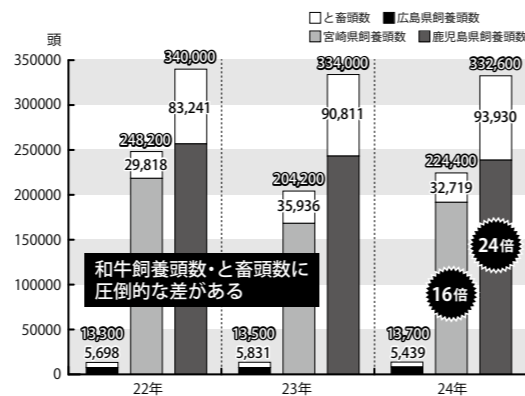
加えて、TPP交渉やオーストラリア

ア経済連携協定など、国際的な関税を巡る交渉が進められる中、これから日本の人口は減り続け、市場がさらに縮小していくと予想されます。そうなる間違った産地間競争になるので、小さな産地は非常に厳しい状況に置かれると思います。

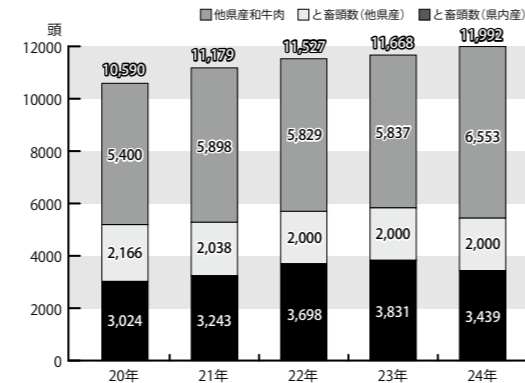
「価格」競争から「価値」競争へ

では、生き残るにはどうすればいいのか。それには大産地でない、ここにはないものを見出すこと。小売業者は量や統一規格を求める一方で、他にない魅力があれば欲しがります。広島県の和牛は現代和牛のルーツで、他県

大産地との規模比較



広島県の和牛消費構成



新広島和牛のブランド展開と位置づけ



広島牛ブランド
「肉質」によるブランド

広島牛のプレミアムブランドとして、現代和牛のルーツである広島血統による新たな広島和牛ブランド「元就」が誕生。また、広島県が制定した食のブランド認証商品として、広島県の食文化に貢献していく。

《広島和牛血統承認》 広島県承認

県域ブランド

【広島和牛元就】



広島県承認

地域ブランド

【比婆牛】



庄原市認証

地域ブランド

【神石牛】

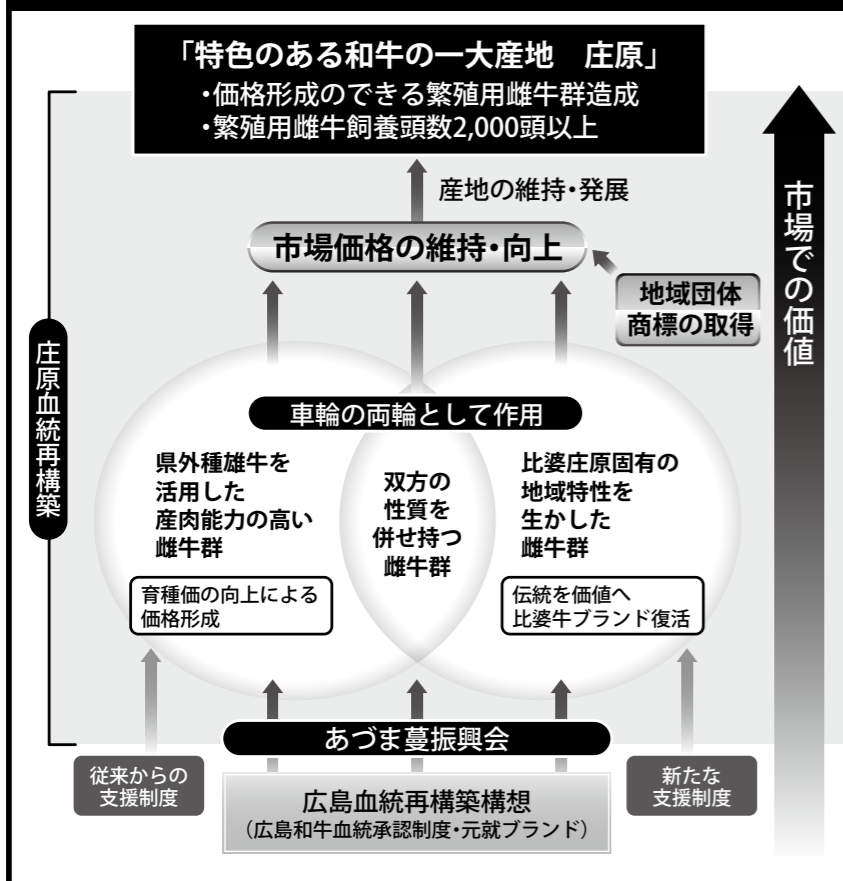


広島県畜産の代表

広島和牛血統承認制度を活用し、県域ブランドである元就を軸として販売を進める。また、元就ブランドと連動した地域ブランド（比婆牛・神石牛）の販売を進め、地域振興を図る。この取り組みにより既存ブランドである広島牛も含め県内和牛の底上げを実施する。

歴史ある伝統和牛を未来へ継承（生産振興）していく。

庄原血統再構築で目指す産地の姿 (イメージ図)



動き出したプロジェクト

“比婆牛”ブランドを復活へ

重要なのはあづま蔓の血統を持つ和牛の頭数を増やすことです



ふじやま あきはる
藤山明春 さん
庄原和牛改良組合 組合長
あづま蔓振興会 副会長

現在、市内で飼育されている約1,400頭のうち、比婆牛の対象となるあづま蔓血統の牛は380頭います。あづま蔓振興会としては、飼育牛全体であづま蔓の割合を増やしていきたい。あづま蔓を増やしなが、全体の頭数も増やしていきたいように、取り組んでいきたいと思っています。



7月9日に三次家畜市場で開かれたせりに、比婆牛素牛として初めて18頭が出品された。比婆牛素牛とわかるように紫色の首たすきがかけられる。

「あづま蔓」の認定要件 ※あづま蔓振興会

- ①庄原市内で飼育している繁殖用雌牛であること
- ②繁殖用雌牛として飼育されている黒毛和種であること
- ③始祖牛「第38の1岩田」の遺伝子保有確率を5%以上保有していること

「比婆牛素牛」の認定要件 ※あづま蔓振興会

- ①庄原市内の畜産農家で生まれていること
- ②庄原市内の畜産農家が出荷していること
- ③黒毛和種の去勢または雌牛であること
- ④三次家畜市場に出荷すること
- ⑤3世代さかのぼる中に広島県の種雄牛がいること
- ⑥発育が基準より下回らないと見込まれ、体型・栄養度も正常であること

「比婆牛」の認証要件 ※庄原市

- ①比婆牛素牛の認定要件を満たしている牛が、JA庄原管内で最長期間飼育され、肉質等級が3等級以上であること

※素牛
繁殖牛として育成する前、または肥育開始前の子牛のこと。生後6～12か月。

「比婆牛」振興に関する協定書にサインし報道陣に伝える、前列左から高下公義全国農業協同組合連合会広島県本部長、木山耕三庄原市長、片島一平庄原農業協同組合代表理事組合長。立会人として後列左から、西本好宏広島県農林水産局畜産課長、赤木忠徳庄原市議会副議長、藤山明春庄原和牛改良組合長



固い握手で決意表明



あづま蔓振興会設立総会の様子

J A全農広島県本部と広島県は平成24年度、広島和牛の「血統」に着目した和牛ブランドを再構築するために振興策の検討を開始。翌25年度には広島県和牛血統承認要領が施行され、JA全農広島県本部による「元就」ブランドの認証・販売も行われるなど、血統によるブランド化の具体的な取り組みが始まった。

比婆牛復活へ関係者が一丸

いか25年度から関係者で検討を重ねてきた。そうした中から、価値の高い血統を受け継ぐ、全国的に知名度の高い「比婆牛」ブランドの復活を旗印とした「庄原血統再構築」という新たな和牛振興策を本年度からスタートさせた。

7 月7日、市やJA庄原など7団体は、新施策を推進するため「あづま蔓振興会」を設立。本振興会は、あづま蔓の認定要件、比婆牛素牛(※)の認定要件を定め、ブランド名「比婆牛」の商標登録を申請、比婆牛肉の販売体制と仕組みづくり、比婆牛の生産基盤となる母牛群「あづま蔓」を造成し、特色ある産地づくりを進める。

同日には、市、JA庄原、JA全農ひろしま3者で、「比婆牛」振興に関する協定を締結し、比婆牛の戦略的な販売を進めていくことを確認した。

木山耕三市長は「多くの関係機関の皆さまのご協力を得て、熱心な協議を重ねる中で、本日を迎えることができた。比婆牛復活の取り組みによって、特色のある和牛の一大産地 庄原が実現できると確信している」と力強く宣言し、「この取り組みは、短期間で成し得られるものではない。引き続き皆さんと協議する中で先頭に立つて取り組んでいきたい」と決意を述べた。

推進組織「あづま蔓振興会」設立



比婆牛復活へ 生産者の思い

比婆牛ブランドの復活に向けて動き出した一方で、和牛生産者の思いはどうか。その期待値を読み解く。

産地の維持拡大への思い

現 在県内で飼われている和牛頭数は約5千頭。そのうち約3割に当たる1400頭あまりの和牛が庄原市内で飼育されている。和牛飼育農家には繁殖農家と肥育農家(※)があり、市内の多くが繁殖農家だ。繁殖農家は

5頭以下の少数飼いが多く、その多くが高齢化によって減少している。後継者不足もあり、産地の維持という面で大きな課題となっている。

「和牛の頭数がいけないと、せり市場へ出る頭数も減り、産地が廃れてしまいうし、購入に訪れる人も減ってしまうので、とにかく飼育頭数が増えることが必要」。そう語るのは庄原和牛改良組合の藤山明春組合長。自らも繁殖農家として繁殖牛9頭を飼育している藤山さんは「比婆牛の取り組みが、産地維持・拡大の足がかりになるきっかけになるのでは」という期待感はある」と話す。

比婆牛を選ぶ理由

比 婆牛に対する農家の評価は「様々に「おとなしくて飼いやすい」というものだ。受胎率もよく、扱いやすいのでそこを好む農家は多い。しかし、価格の面では他県産に比べ低いため、高く売れる種を導入する農家は自然と増えてきた。

そんな中、4軒で和牛を共同飼育している齊木牧場(高野町)は、飼育している9頭全頭が比婆牛血統だ。代表の前田正人さんは、広島県の種雄牛の種を導入してきた理由として「県外の種雄牛の種を入れると比婆牛の種の倍近い値段がする。その割には受胎率が高まりよくない。経済動物なので高い牛にこしたことはないが、例えば3万

円の種は付きにくいので2度入れたらして、県の種は1万円ですつきが良かった。そうすると5万円の差がつくわけで、売るときに5万円高く売れても経営としてはとんとん。そういう感覚もあった」と話す。

比婆牛復活+αの支援を

約 200頭を飼育している肥育農家の田中高志さんは「肥育農家にとっては、比婆牛の認証が始まったといってもすぐに影響があるわけではないが、産地として盛り上げていくためには協力はしていきたい。そのためにも、購入できる比婆牛素牛の子牛が増えること。とことん庄原産にこだわると比婆牛の復活の取り組みは私も期待している」と話す。

その一方で、改良によって比婆牛の認証が受けられない農家もある。これについて田中さんは「市内全体の和牛農家の底上げをするためには、比婆牛になれない牛、この取り組みに参加できない農家にも、これまで同様の支援を」と話す。

また、「庄原市には農業者高等学校のほか、県立広島大学や庄原実業高校もあり、能力がある子が多い。牛を飼いたいという貴重な人材にもう少し何らかの手助けがあれば、後継者も出てくるはず。牛作りも大切だが、人づくりはもっと大切」と、比婆牛にプラスした支援の充実を求めている。

※繁殖農家とは？
繁殖用の雌牛を飼養し、種雄牛の精液を用いた人工授精などで受胎させ、生産した子牛を市場に出荷することで利益を得る和牛農家のこと。

※肥育農家とは？
繁殖農家が生産した子牛を市場などで導入し、肥育(約20カ月程度)して食肉市場などへ出荷することで利益を得る和牛農家のこと。

比婆牛への期待の声をどういった形で反映していくのか。和牛振興に取り組む二人に話を聞いた。

比婆牛を起爆剤にさらなる和牛振興を図ります



庄原農業協同組合
営農販売部

田邊睦雄 部長

農家の皆さんから期待されている比婆牛価格のアップには、何より比婆牛になる素牛の生産が増えることが必要です。そのために、計画的に比婆血統を交配してもらえよう、農家ごとに交配計画を作り、比婆牛につながる素牛造成をお願いしています。また、市の増頭事業や比婆牛血統に対する助成制度などを有効に活用してもらうために、JAとしてもそれらをしっかりと説明しながら、取り組みを支援していきたいと考えています。

あづま蔓振興会の専門部会では、担当者レベルで情報交換を定期的に行いながら、連携し取り組みます。一つ一つ確認しながら次のステップにつなげていきたいと思

ます。また、今回の比婆牛の取り組みは、販売までを含めた取り組みですので、畜産担当部署だけでなく広く職員にも呼びかけ、JA庄原全体として取り組んでいきたいと思っています。

これまで頑張ってきた方の中には、広島牛に一本化したというのに、また昔に戻すのかという声もありますが、そうではなく、広島血統を軸に狙いをはっきりさせた一歩先に進んだ取り組みですので、ぜひとも取り組んでいただきたいです。

県内でも有数の畜産地帯として和牛が少なくなっていくのは寂しいので、この取り組みが大きな起爆剤となるよう、今後も考えうる支援はしていきたいと考えています。

比婆牛認証制度でオンリーワンの和牛産地に



庄原市農業振興課

平岡章吾 課長

歴史・伝統という価値のある比婆血統和牛を認証し、販売する仕組みをつくることで、ブランド牛としての第一歩を踏み出しました。今後、その地位を確立するためには、あづま蔓や比婆牛素牛が増えていくことが必要です。

市は農業振興補助金として、増頭への補助や施設などの整備補助を設け、和牛の生産活動を支援しています。こうした支援に加え、ブランド化に向けた取り組みを推進するため、新たな支援制度も設けています。

この制度を積極的に利用していただき、比婆の血統を受け継ぐ和牛の生産を拡大す

ることで、和牛産地全体としてステップアップを図りたいと考えています。

比婆牛の認証事業は、特色ある和牛産地として庄原市を維持・発展させていくための新たな施策として位置づけています。農家の皆さんの飼養にかける努力と愛情を、大きな価値として反映できるよう、長期的な視点でブランド振興に取り組めます。

農家の皆さんや関係者と十分に議論し、ともに歩みを進め、また比婆牛の歴史や伝統を市民の皆さんにも広く知っていただきながら、庄原の誇れる和牛をしっかりと次代に継承していきたいと考えています。

皆で地道に取り組むこと 安心安全にこだわりを

3年がかりでスタートした比婆牛復活の取り組みですので、時間はかかると思いますが、地道にやっていくこと、浸透させていくことが必要だと思っています。繁殖農家と肥育農家がお互いに仲良くやっていく形ができていくことも必要です。あわせて、きれいな水やおいしい空気といった環境面の良さをアピールし、安心安全にこだわった牛作りに取り組んで、そこをPRしていくことも必要だと思っています。



肥育和牛農家
田中高志さん
(東城町)

とにかく飼いやすい牛 子牛価格の上昇に期待

比婆牛はとにかく飼いやすい牛です。穏やかで乳もよく出るし、子育てのうまい牛という印象があります。人間が少し手を貸すだけで安定したいい牛が育っていました。気性が荒く扱いにくい牛では、そういった面でも多く飼育することは難しい部分があると思います。種も付きやすく普通に飼えば肉質的にも遜色ないので、子牛価格が上がれば比婆牛を飼おうという繁殖農家は増えると思います。



繁殖和牛農家
中林征三さん
(高野町)



比婆牛を味わおう

あづま豊振興会が設立し、本格的にスタートを切った7月7日、市内の3店舗で「比婆牛」の販売が始まった。販売から一月が経ち、すでに口にしたい人も多いのではないだろうか。和牛を取り扱っていた店舗は、「これまでよりもお客さんの反応が良い」と比婆牛人気を感じているようす。これから少しずつ取り扱う店舗、食べられる店が増えていく予定だ。これから少しずつまだ比婆牛を味わっていない人は、ぜひ一度ご賞味を。



販売開始にあわせ、店内のレイアウトも一新

深いコク、上品な香り、豊かな風味、やわらかな舌触りー
比婆牛が織り成す
逸品の味わいをご賞味あれ



●比婆牛を販売している3店舗



食彩館しょうばらゆめさくら
住所：庄原市新庄町 291-1 ☎ 0824-75-4411
特産店 / ☎ 75-4512
お食事処花ほぼろ / ☎ 75-4516



A-COOP しょうばら店
住所：庄原市西本町 2-14-1
☎ 0824-75-4061



道の駅たかの
住所：庄原市高野町下門田 49
☎ 0824-86-3131

島根県安来市から視察研修で訪れ、昼食に比婆牛モモ肉のステーキを食べた方に感想を聞きました。



秦 浩恭さん

おいしいですね。特に脂部分
がおいしかったです。地域産業
としてぜひ地元の皆さんで取り
組んでいただきたいですね。



石原憲次さん

やわらかくておいしかったです。
これはいい取り組みですね。
ブランド化が実を結ぶよう願っ
ています。



お食事処 花ほぼろ
店長 大久保護市さん

比婆牛は魅力的な商品

庄原でしか食べられない「比婆牛」となれば、市外のお客さまへのおきの商品として売り出すことができるので、とても魅力的です。比婆牛はまだまだ数が少ないため、定期メニューとしてお出しすることはできませんが、予約をいただくことで提供できる場合もあります。また、ゆめさくらの特産店で販売している比婆牛を購入し持ち込んでいただければ、少々お代はいただきますが、ライスや汁物などと一緒に調理してお出しすることができますので、ぜひご利用ください。

みたと かずと 三谷美登さん

和牛飼育農家で5人兄妹の長男として生まれる。12歳のときに初めて牛で代をかけた。これまで県畜産共進会などで数々の賞を獲得。昨年11月に行われた牛せりに子牛を出品し、史上最高額の値が付いたという和牛飼育のスペシャリスト。現在は繁殖牛3頭を飼育。庄原和牛改良組合比和支部長として活躍する。81歳

和牛生産者は牛とともにある

だからより良い牛を作るために研鑽し改良を重ね今日までやってきた

ここに比婆牛復活という新たな一歩を踏み出したが

それは改良とは真逆の考え方もかもしれないしかし、あづま豊はここ比和が発祥の地

この取り組みを断る理由はないただ、関係者だけで

「比婆牛ブランド」を作ることではできない市民が、地域の皆さんが

「比婆牛」というブランドをしっかりと育てていくことが必要だ

そのために私たちができることはこれまでと変わらない

より良い牛を作っていくこと
原点は変わらない

取材を終えて

「比婆牛の名は全国に轟いていた」
「比婆牛は、全国の和牛関係者が一目置く存在だった」。

今回取材させていただいた方がほとんど口をそろえていたのが、こうした言葉でした。本市に関係するもので、そこまで全国的に名が知れ渡っているものは、後にも先にも比婆牛のほかにはないかもしれません。

それだけに、今回の比婆牛復活に向けた取り組みは、正にプライドを賭けた闘いでもあると、関係者の方々から熱い思いをひしひしと感じました。そこに、生産者の皆さんの高い生産力が加わることで、名実ともにブランド牛として認められていくのではないのでしょうか。

じゃらん宿泊旅行調査2013によると、市外の方が、庄原市の話題で知っているもの、関心があるもの上位に、「比婆牛」がランクインしているというデータが出ていますので、比婆牛復活は、本市の観光産業にとっても追い風になると思います。

この取り組みはスタートしたばかりですが、皆さんの情熱に触れ、かつての、和牛日本一の称号を、再び手にする日もそう遠くないのではないかと感じました。ただ、それにはやはり市民の皆さんの後押しが欠かせません。ぜひ、オール庄原で盛り上げていきましょう。



Facebookページ「庄原いちばん ええね！」開設しました

(<https://www.facebook.com/shobara.ichiban>)



市は、「庄原いちばんづくり」のひとつとして、庄原のことをもっと多くの人に知ってもらおう！庄原の良さを再認識してもらおう！とフェイスブックページ「庄原いちばん ええね！」を開設しました。

また、フェイスブックページの開設にあわせ、「庄原いちばんデジタルフォトコンテスト」を開催し、皆さんからの作品を募集します。応募作品はフェイスブックページやホームページなどへ掲載し、庄原市のPRに活用させていただきます。皆さんの応募をお待ちしています。

庄原いちばんデジタルフォトコンテストの概要・詳細は、市ホームページをご覧ください。

※フェイスブックとは、世界最大のソーシャルネットワークサービス（SNS）で、実名で現実の知り合いとインターネット上でつながり、交流ができるサービスです。2014年3月現在、12億人以上のユーザー（利用者）がいるとされています。

庄原いちばんデジタルフォトコンテスト

- 募集テーマ
「あなたの庄原いちばんを教えてください。」を大きなテーマとして、「あなたが知っている・見つけた、とっておきの庄原の風景・風物」で作品を募集し前期・後期で入選作品を決定します。
- 募集期間
前期：7月15日(火)～10月31日(金)
※締め切り：メールで応募の場合は、10月31日22時必着、郵送は10月31日消印有効
後期：11月4日(火)～2月27日(金)
※締め切り：メールで応募の場合は、2月27日22時必着、郵送は2月27日消印有効
- 表彰
期間賞 2期間各5点(賞金1万円)
特別賞 2期間各5点(庄原市特産品1万円相当贈呈)

- 年間グランプリ1点(賞金20万円)
- 年間準グランプリ1点(賞金10万円)
- ※年間グランプリ・準グランプリは期間賞・特別賞の中から選出します。
- 応募作品
 - デジタル画像データに限ります。
 - 形式＝JPEG
 - サイズ＝1MB以上
 - ※メールで応募する場合は、データサイズを4MB以内に圧縮して送信ください。
 - ※写真データであれば、一眼レフカメラ以外のコンパクトデジタルカメラ・スマートフォンなどで撮影されたものでも応募可能です。
- 応募方法
住所・名前・電話番号・撮影場所・撮影日・作品タイトル・簡単なコメントを記入して、情報政策課広報広聴係へ

メールで送付するか、データを記録したCD-Rなどの記憶媒体に必要事項を記入したメモを添えて郵送か持参してください。
メール：shobara-9@int.city.shobara.hiroshima.jp

問い合わせ
情報政策課広報広聴係
TEL 0824-73-1159



Facebook

本市のPR役として活躍を期待

西田篤史さん

ふるさと大使に



市は、広島密着型ローカルタレントの西田篤史さんを、庄原市ふるさと大使に任命しました。

西田篤史さんは、これまで庄原よいとこ祭の司会を務めるなど、庄原市の地域振興にも大きく貢献。今後も本市の魅力を広く宣伝し、イメージアップを図る活躍が期待されます。

7月13日に行われた就任式で木山耕三市長から委嘱状が手渡された西田さんは、「これまでも番組などを通じて、庄原はええところと言ってきた。庄原には、自然や食など良いところがたくさんある。これから大使として、堂々と庄原の魅力を発信していきたい」と抱負を述べました。

Atsushi Nishida

Profile プロフィール
「あっちゃん」の愛称で親しまれているローカルタレント。庄原格致高校卒業までの5年間を父方の実家があった庄原市で過ごす。その後進学し、広島修道大学3年生の時にRCCラジオに初出演。卒業後は広島を中心にフリーで活躍。現在は中国放送の情報番組「イマなま3チャンネル」で司会を務めるなど、広島をこよなく愛し、広島の魅力を発信している。1956年生まれ。



就任式後、委嘱状を手に木山市長と握手を交わす西田さん

石原和幸さんに次いで2人目

庄原市ふるさと大使は、本市の自然環境や里山文化の良さ、豊かな農林業資源、観光資源などを広く宣伝し、本市の知名度とイメージの高揚が図れる方を市長が委嘱するものです。任期は3年間です。

現在「庄原市ふるさと大使」として活躍している世界的庭園デザイナー石原和幸さん(平成24年7月任命)に続き、2人目のふるさと大使となります。

終戦から69年――

若者に託す 平和への思い

総務課行政係 ☎0824・73・1123

終戦から69年。戦争に召集されたのは未来ある多くの若者でした。尊い命、明るい未来、戦争はそれらを簡単に奪うのです。家族を亡くした遺族の悲しみは、69年経った今も消えることはありません。戦争という過ちを二度と繰り返さないために、今を生きる私たちが、平和への思いを語り継がなければなりません。

戦争は苦しみしか生まない 自分のような思いを 今の若者にさせてはいけない



いざわ まさあき
井澤聖昭 さん

庄原市戦没者遺族会会長・広島県遺族会理事
厚生労働省遺族相談員
昭和13年3月30日生まれ。
農家の4人弟妹の長男として比和に生まれる。
西本町在住。76歳



昨年の戦没者追悼式・平和祈念式典。八幡小学校児童による合唱。

人生における積年の思いを語りました。そこで初めて父親に「お父さん」と呼ぶことができたといいます。それと同時に、今までの人生や、遺族会での活動、そして思いを果たせなかつた仲間たちの姿が走馬灯のように蘇り、涙があふれたそうです。
父親の遺骨は戦後見つかつておらず、ボルネオで父の存在を確かめたかった井澤さんは、式典会場の近くの日本兵の火葬場跡地を訪れ、そこに父の影を思い、土を持ち帰りました。

平和を語り継ぐ

現在、遺族会では戦没者の孫の世代を対象に、昨年から鹿児島県の知覧特攻平和記念館で学習会を行っています。参加者には、この研修会に参加しやすいように費用の面や情報提供など

父を亡くした悲しみ

井澤さんは7歳の時に父親を太平洋戦争で失いました。父親の出兵当時にはまだ幼かった井澤さんには、日常生活の中で父親と触れ合った記憶がありませんでしたが、戦地から送られてくる父親の手紙を読み、思いをはせていました。

父親がなくなった後は、祖父が父親代わりとなつてくれていましたが、その祖父も高校卒業前に急死。井澤さんは一家の全てを背負うことになりました。当時は将来への不安や重圧から、父親のお墓に抱きついて一晩中泣いたこともあったそうです。

遺族会との出会い

こうした境遇を乗り越え市内の民間会社に就職した井澤さんに、転機が訪れました。

あるきっかけで知り合った戦没者の妻から庄原市遺族会に入ってみないかと誘われたのです。自分と同じ境遇の人の存在を知り、自分の気持ちを理解してくれる仲間と触れ合ううちに、彼らと行動を共にしたい、戦死した父親の思いを誰かに伝えたいと考えるようになりました。

遺族会は、国に戦後補償を求める活動を行っていましたが、戦後間もない日本では、井澤さんのような父親を亡くした人にとつて、生活環境は非常に

支援を行い、戦争の悲惨さ平和の大切さなどを学べる機会を提供しています。

また、遺族会と庄原市では戦没者の慰霊と、恒久平和の願いをこめた式典を毎年8月に行っています。歴史認識や平和学習ができ、平和について考える機会を学生や一般の人々に広く提供したいという思いから、式典では小学校児童による平和の歌の合唱、学生による吹奏楽の演奏などを行っています。



厳しく、同じように体内を戦争で失った日本中の人々が非常に苦しい中で活動を強いられました。何十年も東京の官邸へ出向き、自分たちの境遇を訴え続けるという活動を続けましたが、志半ばで倒れてしまう人も少なくなかったそうです。

地域を越えた人々との触れ合いから、やがて日本全ての遺族と、戦没者の願いである、恒久平和の実現について、自分たちが何をすべきであるか、考えるようになったといいます。

父へのあふれる思い

活動を続けていた平成9年。日本政府が遺族に対する支援計画を発表。この計画を受け、父親が亡くなった現在のマレーシア・ボルネオ島に行く機会が訪れました。

現地には戦争で亡くなった日本兵を祀る石碑が建てられており、そこで行われた戦没者追悼式典に参列しました。井澤さんは、父親がいなかった苦しみや、寂しさといった、これまでの

す。

肉親を失った辛さを知っている井澤さんは、これからの未来を背負っていく人々には、自分のような苦しい思いをしてほしくないと願っています。

今年も庄原市戦没者慰霊祭が8月20日、開催されます。ぜひ皆さんもこの式典に参加して、私たちがこれからの未来のために何ができるかを考えてください。

庄原市戦没者追悼式 ならびに平和祈念式典

平成26年度

本市の戦没者に哀悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を祈念するため、庄原市戦没者追悼式ならびに平和祈念式典を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお願いします。

●とき 8月20日(水) 10時～

●ところ 庄原市民会館

※当日は要約筆記による案内に加え、イントラネットでの中継も行いますので、各支所、自治振興センターなどでもご覧になれます。
※各支所からの送迎バスをご用意しています。利用を希望する場合は、8月14日(木)までに各支所に申し込んでください。(定員に限りがありますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。)

問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
または各支所市民生活室

※8月26日(火)～9月1日(月)市役所市民ホールで、恒久平和を祈念して、「折鶴」や「戦没者の遺品・手紙」などを展示しますので、ぜひご覧ください。

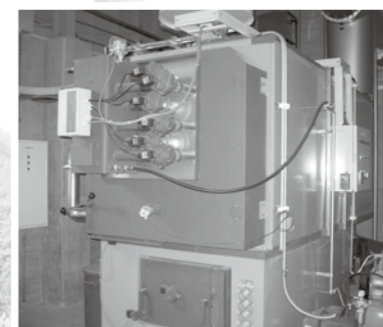
(株)グリーンプレジールは補助事業継承を断念

林業振興課 0824-73-1130

「リフレッシュハウス東城」木質チップボイラー

木質ペレット仕様に改修し再稼働します

林業振興課 ☎0824-73-1130



▲木質ペレット仕様に改修する木質チップボイラー

市は本年3月、市の健康増進施設「リフレッシュハウス東城」に併設された稼働停止中の木質チップボイラー施設を取得しました。

この木質チップボイラー施設は、庄原市内の林地残材、間伐材などの木質バイオマスの有効活用を目的として、

株ジュオン（破産手続中）が平成19年度に地域バイオマス利活用交付金事業で整備したものです。燃料は、同社が三次工場で庄原市内の木材を破砕・乾燥させ、乾燥チップを製造し、ボイラーへ供給していました。

しかし、平成22年11月末、株ジュオンの営業停止、破産申立予定告示により、木質チップボイラーの稼働が停止したため、以降、灯油ボイラーのみで稼働していました。

木質チップボイラーの再稼働にあたっては、市内には乾燥チップを製造する事業者がいなかったことから、市内で安定して供給できる「木質ペレット」を使用しよう改修し、当初の目的の達成を図ります。

木質ペレットボイラーとしての再稼働は来年1月からの予定です。

◆活用の効果

木質ペレットの利用は年間300ト（原料ベースで約600ト）と試算し

ており、灯油使用量を抑えることができ、年間約180万円の燃料費削減が見込まれます。

今回の改修工事は、燃料供給装置、ペレットサイロの設置などを行うもので、ボイラー本体は現在のまま用いることができ、改修予算は約464万円です。

◆木質ペレット仕様に改修する理由

取得した木質チップボイラーは、含水率DB（※）50%以下の乾燥チップで正常に稼働する仕様となっていますが、市内には乾燥チップを生産する既存の事業者がいません。近隣の事例では、自然乾燥によるチップ製造施設の整備費用に約3千万円を要しており、新たな施設整備には多額の費用がかかります。

一方、市内には含水率基準に適合する木質ペレットの製造施設（庄原さとやまペレット株）があるため、木質ペレットの安定供給が可能です。

また、木質チップボイラーの改修費は約464万円であり、この費用は3年間の燃料費削減効果540万円（180万円×3年）により回収できることから「木質ペレット」仕様に改修することとしました。

※DB（乾量基準含水率）とは、木材に含まれている水分の重さが、水分を除いた木材の実質部分の重さに対して何%かを表した含水率です。

補助金不正受給刑事事件に発展した「木質バイオマス利活用プラント整備事業」については、市民の皆さんへ心配をおかけしております。

この補助事業の継承に取り組んでいた株グリーンプレジール（本社／大阪市）が継承の判断のために、平成25年12月2日から平成26年6月6日の間で工場と機械設備を借り受け、調整運転を行いました。

6月25日、株グリーンプレジールから、調整運転の結果および補助事業継承の判断について報告がありましたので、その内容と今後の市の対応についてお伝えします。

1 (株)グリーンプレジールからの報告の概要

(1) 調整運転の結果

- ①グリーンケミカル株の木粉製造事業計画3千ト/年に対して、木粉粒度89μm（※1）での生産能力は約2千700ト/年（90%）、株グリーンプレジールが目標とする木粉粒度50μmでの生産能力は約1千300ト/年（43%程度）程度であることが分かった。
- ②BPM粉砕機（チップを粉砕する機械）は不具合（※2）のため取り替えが必要であり、1億8千万円の投資が必要である。
- ③製品を貯留搬送する設備が持ち出されており、再設置には4千万円程度が必要である。
- ④チップの錆の部分の交換、ボイラー破損箇所の交換、品質管理設備、油圧ショベル購入などで1～2億円が必要と見込まれる。

(2) 補助事業継承は困難と判断

株グリーンプレジールは補助事業継承することが困難と判断し、撤退することを決定した。

○理由 BPM粉砕機の代替機の導入費用などで約3～4億円の投資が必要で、木粉製造のみでその投資額を回収することは困難。

※1 「μm」ミクロン。1千分の1ミリメートル。

※2 市は市農林漁業振興補助金交付要綱の規定により稼働検査などの完了検査（平成22年3月30日）を実施。不具合はその後に発生。グリーンケミカル株がメーカー保証により対応しなればならなかったが、同社は金銭を受領し、改善をしないでした。市はこのことを平成24年4月に行った全事業調査で把握した。

【木質バイオマス利活用プラント整備事業の概要】

- ◆事業実施主体：グリーンケミカル株（本社：庄原市）
- ◆事業年度：平成20年度～22年度
- ◆事業概要：未利用の木質バイオマス（間伐材、林地残材など）から、樹木抽出油1,980ℓ/年やバイオマスプラスチックの原料となる木粉3,000t/年を製造する機械設備を整備
- ◆国交付金：農林水産省 地域バイオマス利活用交付金
- ◆交付金額：4億5,068万円
- ◆事業休止：平成22年11月30日に株ジュオンの営業停止、破産申立予定告示により、グリーンケミカル株も影響を受け工場の操業を休止
- ◆不正事件：平成24年1月20日、事業費を増し、補助金を不正受給したグリーンケミカル株の代表取締役西本清宏氏、株ジュオン代表取締役西本徹郎氏を補助金適正化法違反および詐欺罪で告訴。裁判では、両被告人の不正行為を認めた上で、補助金不正受給額を2億5,650万円と認定し、補助金適正化法違反で有罪判決

2 今後の市の対応について

今後、市は補助事業の取り扱いについて国と協議の上、市としての方向性を検討します。方向性が決まり次第、改めてお知らせします。

新たな国民病 「慢性腎臓病(CKD)」



庄原赤十字病院 腎臓内科

戸谷 誠二

人工透析・要介護状態に なりやすい病気

「慢性腎臓病(CKD)」とは、腎臓病、腎機能の低下が続く状態のことを言います。その原因の多くは糖尿病、高血圧、肥満です。腎臓が駄目になって人工透析が必要になるだけではなく、健康な人に比べて4〜5倍、要介護状態になる原因の代表的な病気である「認知症」「脳梗塞」「心筋梗塞」になりやすいたことがわかっています。

人工透析は家族全体の 生活の質の低下を招く病気

患者数は、現在国内で約1千300万人と推計され、「新たな国民病」と言われています。CKDの患者は透析予備群でもありますが、要介護予備群とも言えます。

また、厚生労働省は「人工透析の1人当たりの医療費は年間500万円にもなることに加え、時間的拘束や身体的・社会的制限が発生することにより、患者およびその家族の生活の質

の低下をもたらすことになる」と発表しています。

CKDを予防する取り組み

このためアベノミクス「3本の矢」のうちの3本目「日本再興戦略」では、「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして「糖尿病性腎症患者の人工透析導入を予防する予防事業」を挙げています。国を挙げて腎臓病対策が行われる中で、当院では毎週木曜日に腎臓内科外来を行っています。庄原市も「市民全体の血圧を5%下げること」を目標に平成23年度から「庄原塩少々プロジェクト」を進めています。

これらの取り組みの効果だけではなく、これら以外にも、庄原市の国民健康保険、後期高齢者医療制度加入者のうち人工透析患者さんは、平成23年度末に

は98人でしたが、平成25年度末には83人と約15%減り、年間約7千500万円の医療費が減少しました。

国内の腎臓内科医は5千人弱のため、腎臓内科医だけで1千300万人のCKD患者の診療を行うことは不可能な状態ですが、当院では「備北地域CKD連携パス(腎臓病手帳)」などを使って、かかりつけ医の先生と連携した診療を行っています。

定期的な検査を

CKDを予防し、悪化させないためには、①糖尿病・高血圧などの生活習慣病の予防・治療、②肥満にならないこと、③禁煙が重要です。血液検査だけではなく、定期的に尿検査も受けましょう。異常が続く場合には腎臓内科外来を受診してください。受診の際には、経過が不明だと診断が正確に行えないことがありますので、必ず紹介状をお願いします。

「慢性腎臓病」を予防して、透析だけではなく要介護状態にならないようにしましょう。



「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」

7月28日から、「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」の申請を受け付けています。対象者と思われる方には7月下旬に申請用紙を送付していますので、対象になるかどうか確認の上、期限までに申請してください。(用紙が届いた方でも、給付の対象とならない場合があります。)

●申請期間 7月28日〜10月28日

「臨時福祉給付金」

●対象者 平成26年1月1日時点で、原則庄原市に住民登録のある方で、平成26年度の市民税(均等割)が課税されていない方。ただし、市区町村市民税が課税されている方に扶養されている場合や生活保護の受給者は原則対象外。

●申請方法 紫色の封筒で送付された指定の申請用紙に①印字されている内容と誓約・同意事項を確認の上、申請者全員

の押印②申請者(代表者)本人の振り込み先の記入③振り込み先が確認できる部分の通帳の写しを添付の上、同封の返信用封筒で郵送するか持参してください。※申請用紙が届いていなくても、対象になると思われる方はご連絡ください。申請用紙を送付します。(申請時には、本人と本人を扶養している方が非課税であることを証明書が必要です。)

「子育て世帯臨時特例給付金」

●対象者 平成26年1月1日時点で、原則庄原市に住民登録のある方で、1月分の児童手当の受給者。ただし、児童手当の所得制限限度額以上の方や臨時福祉給付金受給者、生活保護受給者などは対象外。

●申請方法 送付された指定の申請用紙に、①印字されている内容と誓約・同意事項を確認のうえ申請欄へ押印、②公務員は、所属庁から交付された証明書と振り込み先が確認できる部分の通帳の写しを添付の上、同封の返信用封筒で郵送するか持参してください。

なお、児童手当の振込口座以外への振り込みを希望する場合は、本人確認書類の写しを添付してください。

※詳しくは、広報しようばら6月号または市ホームページをご覧になるか、左記までお問い合わせください。

※電話での個人に関するお問い合わせ(市民税は課税されているか)「扶養されているか」「児童手当を受けているか」などは、本人であってもお答えすることができません。

問い合わせ

●臨時福祉給付金 給付金専用ダイヤル(社会福祉課) ☎0824・73・1737
●子育て世帯臨時特例給付金 児童福祉課児童福祉係 ☎0824・73・1192



こどもの夏の 皮膚トラブルを予防しよう

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255

夏は皮膚トラブルの多い季節です。楽しく過ごすことができるように、皮膚に異常を感じた時には放置せず、早めに小児科・皮膚科へ相談しましょう。

あせも

汗をかきやすいおでこや肘の内側、首の周りなどに白いぶつぶつができて、やがてかゆみのある赤い発疹になります。スキンケアをすれば白いものは1〜2日で治ります。

汗をかいた後はふき取るか、かゆがるときには冷たいタオルを当てて対応しましょう。

なかなか治らないときには医師に相談しましょう。

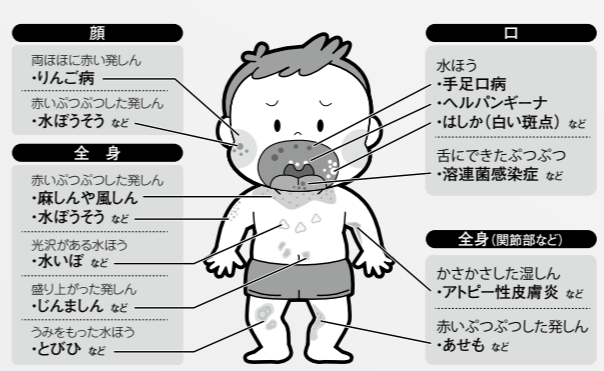
水いぼ

おなかや手足に白く光沢のあるいぼが数個〜十数個できます。こすれてつぶれると中のウイルスが飛び散ってそこから増えます。水いぼの治療はピンセットで直接取る処置が広く行われていますが、子どもにも苦痛を与えることになるので、医師とよく相談して治療してください。

とびひ

虫刺され跡などに水疱(すいほう)ができ、やがて、水疱は膿で白く濁り、かきこわすとじくじくした状態になります。じくじくした傷をかき壊した爪でほかのところをかくとそこにも広がっていきます。対処法は、病院で処方された薬があればじくじくした部分に塗り、ガーゼで覆います。爪も短く切りましょう。じくじくした部分が乾燥するまでガーゼで覆いましょう。

気になる発しんチェック!



生涯学習課

全国での活躍を誓う
全国大会出場者壮行式

文化・スポーツ部門で、国際大会や全国大会などへ出場する選手の壮行式が7月17日、市役所本庁舎で行われ、出場者をはじめ関係者や家族などが出席しました。

壮行式では、木山耕三市長と赤木忠徳市議会副議長が激励のあいさつを行い、出場者に祝金と花束が贈られました。

また、出場者を代表して、平成26年度全国高等学校定時制通信制体育大会第47回卓球大会へ出場する平田美咲さんが決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。



木山市長らと壮行式に参加した13人で記念撮影

大会出場者(敬称略)

- パンパシフィック選手権大会・アジア競技大会(競泳)
- 金藤 理絵(山内町・Jalea)
- 全国高等学校総合文化祭(写真部門)
- 松本 涼太(庄原格致高2年)

生涯学習課

市民ひとり1スポーツの実現へ
庄原市スポーツフェスティバル

「第24回庄原市スポーツフェスティバル」が7月6日～27日の期間で開催され、7月13日に開催された総合開会式には、各種目の役員・選手約200人が参加しました。

大会会長の木山耕三市長が「健康づくり・体力づくりはもちろん、互いの交流を深め、生涯スポーツ社会の実現を達成することを目標に頑張ってください。」とあいさつ。また、庄原市バレーボール協会の竹本健三さんの力強い選手宣誓で開会が宣言されました。

期間中は、14競技5講習会(レクリエーション含む)の計19種目が市内各会場で開催され、庄原市が掲げる「市民ひとり1スポーツ」の実現を目指し、約2千人の市民が心地よい汗を流していました。

管財課

民間活力で市有施設の有効利用を
太陽光発電事業に関する協定書締結

市と太陽光発電システム販売の(株)ウエストエネルギーソリューション(広島市)は7月3日、市の所有する施設の屋根に太陽光発電パネルを設置する協定を締結しました。

この事業は、(株)ウエストエネルギーソリューションが太陽光発電システムを取り付けて発電した電気を売って自社の収入とする一方、市は施設の有効利用と使用料収入が見込まれ、また、

再生可能エネルギーの活用促進や保育所・小中学校での環境教育の推進を図るといふものです。

この事業にかかる市の費用負担はゼロで、屋根の使用料や固定資産税など20年間で約8800万円の収入を見込んでいます。

太陽光発電パネルを設置する施設は、日当たりや耐震性などを考慮して選定した31施設を予定しており、年



協定書にサインし笑顔の木山市長とウエストエネルギーソリューション代表取締役社長の恩田英久さん(右)

間発電量は一般家庭約350世帯分(127万kw時)を見込んでいます。市は、今後も市有施設の有効利用に向けた取り組みを推進していきます。

管財課

建設会社と技術者の高い施工能力を評価
優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰

市は7月16日、庄原市優良建設工事施工業者の認定式ならびに優良技術者の表彰式を開催し、平成25年度に完成した工事のうち、優れた工事施工により認定基準を満たした2工事の施工業者を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者を「優良技術者」として表彰しました。

この制度は、建設会社の技術力向上を目的に、市が発注する500万円以上の建設工事について、品質や出来栄、安全対策などを総合的に評価する

「工事成績評定点」が82点以上(100点満点)

の成績を収めた工事の施工業者と技術者を認定・表彰するものです。

木山耕三市長は「今後、他の業者の見本となり、高い技術力を社会資本の整備や維持管理に役立てていただきたい」と述べ、認定書と表彰状を手渡しました。



右から、(株)大歳組の鯉谷さん、常務取締役黒谷武晴さん、木山市長、宮田建設(株)の代表取締役笹尾進さん、松本さん

○優良認定業者および優良技術者 (敬称略)

優良認定業者名	対象工事名	優良技術者名
(株)大歳組(東本町)	峰田地区配水管布設工事	鯉谷 忠春
宮田建設(株)(東城町)	三坂地区(郷原～宇那田)配水管布設替工事	松本 文昭

安心・安全な
毎日のために

庄原消防署
0824-72-9911

ルールを守って楽しい花火

子どもたちにとって夏の身近な風物詩「おもちゃ花火」。家族や友達との花火は夢が膨らみ、安らぎのひとつです。

しかし、「おもちゃ花火」とはいえ花火の原料は火薬であり、取扱の上の不注意から毎年火災が発生しています。

火災や火傷などの事故が起こらないよう十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

5つのルールを守ろう

- 1 花火に書いてある遊び方をよく読んで、必ず守りましょう。
- 2 花火を人や家に向けたり、燃えやすいものがある場所でしたりしないようにしましょう。特に、衣服に火がつかないように注意しましょう。
- 3 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。
- 4 水バケツを用意して、終わった花火は完全に消火しましょう。
- 5 大人と一緒に遊びましょう。

平成26年度
庄原市防災訓練のお知らせ

豪雨災害に備え、災害から住民の生命と財産を守るとともに、地域での自主防災体制の推進を図ることを目的に、平成26年度庄原市防災訓練を実施します。

訓練は、非常に強い台風の襲来により、庄原市で記録的短時間大雨が記録され、市街地で土砂災害が発生したと想定し、市、西城自治振興区、庄原市消防団をはじめ、各関係機関が協力して10種目の訓練を実施します。広島県防災ヘリコプターも参加し、見学もできます。

市民の皆さんもぜひご参観ください。

とき 8月31日(日)9時～11時30分
※小雨決行
※当日の気象状況などにより中止される場合があります。
ところ 西城球場および周辺一帯(西城町大佐)





Report 4 「住宅デー」で修繕ボランティア 広島県建設労働組合第12地域連合庄原が奉仕活動

全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、全国



▲本棚を修理する組合員の皆さん

各地で建設労働組合による技術奉仕活動が行われました。

市内では6月21日から25日にかけて、広島県建設労働組合第12地域連合庄原の組合員46人が、各保育所、子育て支援センター、小中学校、一人暮らしの高齢者宅を修繕しました。

美古登小学校では、8人の組合員が訪れ、傷みが目立っていた木製遊具や本棚を手際よく修理。まるで新品のように生まれ変わりました。

同小学校の和田真理子校長は「的当てをきれいに直していただき、また、本棚に大きな本も入るようになり喜んでます。毎年、皆さんのおかげで本校の施設も充実してきており、大変感謝しています」とお礼の言葉をかけていました。

Report 5 自己記録に挑戦！ 第19回庄原市小学校陸上競技記録会

庄原市小学校陸上競技記録会が6月21日、上野総合公園陸上競技場で行われ、昨年度を上回る市内の小学生598人（4年～6年の希望者）が参加しました。

この記録会は、児童の体力・競技力の向上や心身の練磨育成を図ることを目的に開催されており、今回で19回を数えます。

当日は好天の下、11種目が行われ、選手たちは自己記録に挑戦。全力で頑張る姿に会場からは熱い声援が送られていました。

なお、大会結果（各種目第1位）は次のとおりです。※カッコ内は学年。

- 男子4×100mリレー
山内A
奥 優一葉 (5)
池田 友樹 (5)
道下 黎哉 (5)
山本 陸哉 (6)
●女子4×100mリレー
西城A
竹森 理紗 (6)
奥原乙歩百 (6)
丹波 慶美 (6)
守長 沙奈 (6)
●混成4×100mリレー
山内A
松川 晟夕 (4)
稲垣 帆乃 (4)
松川 瑠華 (4)
武田志央里 (4)
- 男子100m
山本 陸弥 (山内小6)
- 男子80mハードル
田邊 勇貴 (総領小6)
- 女子100m
持田 芽衣 (粟田小6)
- 女子80mハードル
永井 晴奈 (永末小6)
- 男子800m
石妙 直樹 (永末小6)
- 男子走幅跳
松浦 正樹 (永末小6)
- 女子800m
谷本 楓 (東城小5)
- 女子走幅跳
永井 晴奈 (永末小6)



▲記録会の様子

Report 6 無数の蛍に出会う夏夜 総領保育所ほたる見コンサート

総領保育所で6月20日、西城町在住のアコーディオン奏者古川由紀さんを招いてコンサートが開催さ



▲親子でうちわ作り

れ、園児や保護者、地域住民など113人が参加しました。

「みんなで歌おう」を合言葉に、古川さんのアコーディオン演奏に合わせ「手のひらを太陽に」や「山の音楽家」など全10曲を全員で元気よく合唱しました。

コンサートの後は、親子でうちわ作りに挑戦し、暑さを吹き飛ばすオリジナルの素敵うちわを完成させました。

午後8時過ぎには保育所前の田総川沿いを散策。たくさんの蛍に出会った園児からは「光った！」「きれい！」などの歓声が飛び交いました。蛍の織り成す幻想的な空間で、初夏のひとときを親子で楽しんでいました。

Report 1 地元ってすごい！ふるさとの魅力再発見 東城小学校PTC活動



▲組立工程の説明を熱心に聴く児童たち

東城小学校5年生46人と保護者、教員が6月26日、PTC活動で東城検定と工場見学を行いました。

はじめに、東城の魅力再認識し、PRしようとして作られた問題集を利用した「東城検定」が行われ、文化財や東城出身の人物に関する問題など20問を親子で解きました。

工場見学では、地元東城で創業の削岩機メーカー「ヤマモトロックマシン(株)」を訪れ、「ひろしまたてものがたり100セレクション」に認定された趣のある工場の中で、社員から削岩機の組立工程などの説明を受けながら実際の作業の様子を間近で見学しました。

児童たちは「迫力があってすごかった」「小さな部品まで丁寧に作っていることに驚いた」と興奮気味に話していました。

Report 2 花壇の手入れで心を育む 高野中と老人クラブが共同でボランティア活動

高野中学校3年生17人が6月20日、荒神谷、蓬萊会の各老人クラブの皆さんと一緒に、花壇整備のボランティア活動を行いました。

長年続くこの活動は、近い将来地域の担い手となる中学生に、自ら地域づくりに参加することの楽しさを体験してもらう場にもなっています。

当日は朝から暑くなりましたが、生徒たちは老人クラブの皆さんに、鍬の使い方や花の植え替え方法を教えてもらいながら作業に励みました。作業後は、きれいになった花壇の脇で談笑しながら、満足そうに汗をぬぐっていました。

参加した生徒の柳迫彩さんは「この体験を通してボランティアの素晴らしさがわかった。これからも色々なボランティアに参加してさまざまな人と触れ合っていきたい」と話していました。



▲指導を受けながら作業する生徒たち

Report 3 ご当地ヒーローが子育て応援 “子育て講演会&ヒーローショー”



▲頑張れ！メーブルカイザー！

〇和自治振興区、〇和子育て支援センターが共催する「子育て講演会&ヒーローショー」が7月6日、〇和自治振興センターで行われ、親子連れなど約50人が来場しました。

広島県のご当地ヒーロー“安芸戦士メーブルカイザー”が「育メンヒーローの子育て講演会」と題して講演。児童虐待防止、苦労した子ども時代、父として家族の思いなど、子育て奮闘記を熱く語りました。

講演後の「ヒーローショー」では、子どもたちの笑顔を守るためメーブルカイザーが悪と奮闘。子どもたちから「メーブルカイザーがんばれ！」「負けるなメーブルカイザー！」と声援が飛び交っていました。



パシャッ!



Report 7 自分の思いを英語に乗せて 第10回中学生による英語スピーチ大会

庄原ロータリークラブ、しょうばら国際交流協会、庄原市教育委員会の3者が共催する「第10回中学生による英語スピーチ大会」が6月8日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

- 優秀賞 木場 菜月さん(庄原中3年)
- 後藤 新奈さん(東城中3年)
- 安広 ゆいさん(庄原中3年)

市内7中学校から11人の生徒が参加し、自分の体験を通してより深く考えるようになったことや、家族や地域への思い、日頃感じていることなどについて、英語でスピーチを披露。家族や地域、学校の教諭に見守られる中、堂々と発表していました。



△みんなで記念撮影

市内の学校に勤務するALTにより審査が行われ、3人の生徒に優秀賞が贈られました。

Report 8 タマネギの輪、地域の和 八銚自治振興区タマネギ祭



△タマネギの大きさを比べ、優勝した長谷川さん

地域ぐるみでタマネギ生産に力を入れている八銚自治振興区が7月6日、八銚自治振興センターで「タマネギ祭」を初開催しました。

当日はおおよそ200人が来場。たまねぎ5つの重さを競うメインイベント「タマネギの大きさ比べ」では、区民29人が自慢の手作りたまねぎを出品。2,970gで優勝した長谷川義憲さんは「妻が丹精こめて作ったタマネギ。賞金の地域振興券は持って帰って妻に。また機会があればがんばって出品したい」と意気込んでいました。

もうひとつのメインである「タマネギ料理コンテスト」には、西城町全体から計13品が出品。1位の大変大変よかったで賞を獲得した「玉ねぎの炊き込みごはん」を始め、個性豊かな料理が並びました。

振興区の小笠原洋行会長は「たまねぎ生産の取り組みは販売目的ではなく、栽培を通して地域の和を育む活動であり、その意味では今回の催しは非常に成果があった。今後も地域の皆さんが作ったタマネギを振興区を通して販売し、地域の連帯感を強めたい」と話していました。

Report 9 世代を超えて多くの方がふれあう 比和たなばたまつり

7月7日の七夕の日、比和自治振興センターで比和のつどい「たなばたまつり」が開催されました。

梅雨の最中であいにくの雨模様でしたが、会場にはこの日を楽しみにしていた地域の方約200人が来場し、比和保育所園児や小学生が手遊び歌やよさこい踊り、比和中学校の生徒が合唱などを披露し、観客も子どもたちと触れ合いながら楽しみました。



△地域の皆さんと触れ合い

子どもたちの元気な姿に「こうやって子どもたちと触れ合う機会はなかなかないので元気をもらえた」「子どもたちの笑顔に癒やされた」などといった声も聞かれ、笑い声の絶えない一日となりました。

生活相談

身体障害者補装具判定会

「聴覚」8月21日(木)
受付 13時～14時

ところ

広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4・6・1
※1週間前までに社会福祉課
障害者福祉係へ予約を。
☎0824・73・1210

障害者相談員定期相談会

〔庄原地域〕

○身体

8月11日(月)
13時30分～16時30分

○知的

9月8日(月)
13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター
※事前予約もできます。
問い合わせ
社会福祉課障害者福祉係
☎0824・73・1210

定期巡回児童相談

広島県北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域

とき

8月21日(木)・9月18日(木)
10時～15時

ところ

庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに児童福祉課
あんしん支援係へ予約を。
☎0824・73・0051

●東城地域

とき

8月22日(金)・9月26日(金)
10時～15時

ところ

東城支所
※1週間前までに東城支所市
民生活室へ予約を。
☎08477・2・5131

健康相談

●心の健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。

とき

8月19日(火)・9月9日(火)
13時～14時

ところ

※9月4日(木)には、東城支所でも実施します。(13時30分～14時30分)

○エイズ検査・相談

検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。

とき

8月27日(木)・9月10日(水)
13時～14時30分

ところ

申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
☎0824・63・5181

人権相談

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域

とき

8月19日(火)・9月2日(火)
13時30分～16時30分

ところ

庄原市ふれあいセンター

●西城地域

とき

9月11日(木)
13時30分～16時30分

ところ

西城自治振興センター

●東城地域

とき

9月4日(木)
13時30分～15時30分

ところ

東城ふれあいセンター

●高野地域

とき

8月19日(火)

ところ

高野支所

13時～15時

●比和地域

8月21日(木)
13時30分～15時30分

ところ

比和自治振興センター

●総領地域

9月10日(水)
9時～11時

ところ

総領健康福祉センター
問い合わせ
三次人権擁護委員協議会
☎0824・62・2572

行政相談

行政相談委員が国の行政に関する相談に応じます。相談は無料で予約は要りません。

●庄原地域

とき

8月21日(木)
13時～16時

ところ

庄原市ふれあいセンター
問い合わせ
市民生活課市民生活係
☎0824・73・1154

●西城地域

とき

8月21日(木)
13時30分～15時30分

ところ

西城保健福祉総合センター(しあわせ館)

問い合わせ

西城支所市民生活室
☎0824・82・2124

●口和地域

8月21日(木)
13時30分～15時30分

ところ

口和支所市民生活室
☎0824・87・2112

●高野地域

8月19日(火)
13時～15時

ところ

高野支所市民生活室
☎0824・86・2115

●比和地域

8月21日(木)
13時30分～15時30分

ところ

比和自治振興センター
問い合わせ
比和支所市民生活室
☎0824・85・3001

●総領地域

9月10日(水)
9時～11時

ところ

総領健康福祉センター
問い合わせ
総領支所市民生活室
☎0824・88・3063

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話ください。
 《家族や友人が心配という方もご相談できます。》
 庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
 ☎ 0824-73-1243 [月～金9時～17時 (年末年始・祝日除く)]

広島県西部 こども家庭センター	☎ 082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎ 082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎ 0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

庄原市消費生活センター
 契約のトラブルや多重債務
 など消費生活に関する相談を
 受け、解決のためのお手伝い
 をしています。

お気軽にご相談ください。
 とき 毎週月～金曜日
 (祝日、年末年始除く)
 9時～16時(12時～13時休み)
 ところ
 市役所1階市民生活課内
 ☎ 0824・73・1228

庄原法律相談センター

表現した作品を募集します。
 応募資格は問いません。多く
 の皆さんのご応募をお待ちし
 ています。

募集部門

- 標語の部
- 詩・作文の部
- 絵画・詩画・ポスター・写
真などの部

応募方法

- ・作品は未発表のものに限り、
一人1点とします。
- ・作品には、住所または学校
名・学年、氏名(ふりがな)
をご記入ください。(学校経
由の場合は住所の記入は不要
です。)

飲酒運転の根絶!!

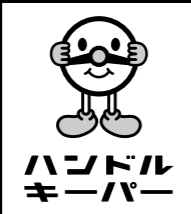
飲酒運転に対する社会の厳しい批判の高まりや、
 刑法・道路交通法の厳罰化などもあり、飲酒運転に
 による事故件数は減少してきていますが、ここ数年で
 は、下げ止まりの状況にあります。飲酒運転は法律
 違反行為に該当するだけでなく、ひとたび事故を起
 こせば、死亡事故につながる可能性が高い危険な行
 為です。平成24年のデータでは、飲酒運転による死
 亡事故は、飲酒していない場合と比べて9.6倍、さら
 に正常な運転ができない状態である酒酔い運転に
 なる26倍にも達しています。

皆さん一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、さ
 せない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

ハンドルキーパー運動にご協力ください

お酒を飲むときには、ハンドルキーパー(お酒を飲まず仲間を送り届ける人)を確保して、絶対に飲酒運転はしないようにしましょう。

.....
 危機管理課 ☎ 0824-73-1206



広島弁護士会三次地区会の
 弁護士が、市内地域で無料法
 律相談会を開催します。相談
 時間は1人(1件)30分です。
 利用には予約が必要です。

●8月・9月の相談日

庄原地域
 とき 8月26日(火)13時～16時
 ところ
 庄原市ふれあいセンター

西城地域
 とき 9月9日(火)13時～16時
 ところ
 西城自治振興センター

東城地域
 とき 9月24日(水)13時～16時
 ところ
 東城支所

予約先・問い合わせ
 市民生活課市民生活係
 ☎ 0824・73・1154
 または各支所市民生活室

高齢者・障害者の人権あんしん相談

法務局・地方法務局および
 都道府県人権擁護委員連合会
 では、虐待や差別など、高齢
 者や障害者をめぐるさまざま
 な人権問題を積極的に把握
 し、問題解決の援助を行うた
 めの人権相談所を常時開設し
 ています。

9月8日(月)から14日(日)まで
 の間を、全国一斉「高齢者・

・優秀作品の発表および表彰
 は庄原市人権講演会で行い、
 入賞者へは賞状と記念品を贈
 呈します。

・作品を直接持参する場合は、
 生涯学習課または各支所教育
 室までお願いします。郵送の
 場合は、生涯学習課宛にお送
 りください。なお、応募作品
 の返却は原則として行いま
 せ

募集締切
 9月19日(金)必着

作品の郵送先・問い合わせ
 〒727・8501
 庄原市中本町一丁目10番1号
 庄原市教育委員会生涯学習課

催し

**「魅惑のサックス奏者」
 佐野博美コンサート**

日本屈指のサックスプレー
 ヤー「佐野博美」のコンサ
 トを開催します。

今回はバックミュージシャン
 として、ベースにT.V.ドラ
 マ「俺たちは天使だ」「探偵
 物語」のテーマで一世をふう
 びした「SHOGUN」メン
 パーのミッチー長岡さん、ピ
 アノに宮澤由衣さん、パー
 カッションに益田和嘉子さ
 ん、ポーカーに田口やすひこ
 さんが参加。総勢5人による
 演奏会です。多くの皆さまの

障害者の人権あんしん相談」
 強化週間とし、広島法務局と
 広島県人権擁護委員連合会
 で、相談時間を延長して電話
 相談に応じます。

【電話番号】
 0570・003・110
 (全国共通人権相談ダイヤル)

【相談時間】
 9月8日(月)～12日(金)
 8時30分～19時
 ※ただし、9月13日(土)・9月
 14日(日)は10時～17時まで。
 ※強化週間終了後は、平日8
 時30分～17時15分まで。

社会教育係
 ☎ 0824・73・1188

**道の駅グルメライド
 in中国山地参加者募集!**

6つの道の駅を巡る、全長
 124kmのライドコース
 庄原市・三次市・島根県奥
 出雲町・雲南市・飯南町の2
 県5市町にまたがる全長約
 124kmのアップダウンのあ
 るコース。コース内にある6
 つの道の駅をサイクリングで
 巡りながら、中国山地の雄大
 なコースをお楽しみくださ
 い。

とき 10月5日(日)
 受付6時～
 スタート 7時30分
 ゴール 17時30分(制限時間)
 ※受付・スタート・ゴールは
 道の駅ゆめランド布野
 参加費 6千円
 申込期限 9月7日(日)
 申し込み先
 ○電話受付
 0570・550・846
 (平日10時～17時30分)
 ○インターネット受付
<http://www.sportsentry.ne.jp>
 問い合わせ 道の駅グルメラ
 イド in 中国山地実行委員会事
 務局(三次市建設部土木課)
 ☎ 0824・62・6305

募集

**庄原市周遊観光パンフレッ
 ト掲載店舗募集**

市は、庄原市を訪れる観光
 客に対して、本市の観光資源
 を分かりやすく魅力的にPR
 するとともに、「見るだけ
 はなく食べる」情報を提供す
 ることで周遊と消費を促し、

ご来場をお待ちしています。
 とき 9月21日(日)
 開演15時(開場14時30分)
 ところ 庄原市民会館
 入場料 一般2000円
 (当日2300円)
 ※高校生以下は無料(要整理
 券)
 ※市民会館での購入に限り、
 友の会会員は10%割引
 ※未就学児の入場はご遠慮く
 ださい。
 ※無料の託児サービスをご利
 用ください。(要予約)
【前売券発売所】
 庄原市民会館、ジョイフル、
 ザ・ビック、食彩館しよば
 らゆめさくら
問い合わせ
 庄原市民会館
 ☎ 0824・72・4242
 生涯学習課社会教育係
 ☎ 0824・73・1188

その他

**不妊治療費補助金交付事業
 制度の一部を改正しました**

市は、医療保険対象外の特
 定不妊治療を行っている方
 で、広島県の不妊治療支援事
 業の助成を受けた方を対象
 に、補助金を交付しています。
 広島県の制度が4月に改正
 されたため、市の制度も同様
 に改正し、補助金額や交付回
 数、対象年齢を変更しました。
 改正後の制度内容は次のと
 おりです。

補助金額
 1回当たり15万円を上限に
 助成します。(ただし、採卵
 を伴わない治療は1回当たり
 7万5千円)
 ※補助金の交付回数や対象年
 齢は、広島県のホームページ
 (「広島県 不妊治療」で検索
 をご覧になるか、保健医療課
 健康推進係までお問い合わせ
 ください)。
補助対象者
 次の全てに当てはまる方。
 ○市内に住所がある方
 ○法律上の婚姻をしている方
 ○広島県不妊治療支援事業の
 助成を受けた方
申請に必要なもの
 次の書類を保健医療課また

地域経済の活性化を図ること
 を目的に、庄原市周遊観光パ
 ンフレットを制作します。
 このパンフレットに掲載を
 希望する店舗を募集します。
対象店舗
 市内に住所がある、飲食を
 提供する店舗(例/食事処、
 カフェ、パン屋など)
応募方法
 商工観光課、各支所産業振
 興室・産業建設室、市ホーム
 ページにある専用の申込書に
 必要事項をご記入の上、左記
 申し込み先まで直接持参す
 るか、メールでお申し込みく
 ださい。
 ※申し込みには料理写真1枚
 と店舗写真1枚が必要です。
 ※画像データはメールで送付
 (4MBまで)するか、申込
 書提出時にUSBメモリーな
 どに入れてご持参ください。
申込期限 8月29日(金)まで
申し込み先・問い合わせ
 商工観光課にぎわい観光係
 ☎ 0824・73・1179
 メール kankou@city.shobara.hiroshima.jp

人権作品募集

生命の尊さや生きることの
 すばらしさ、平和の大切さを

は各支所市民生活室に提出し
 てください。

- ①補助金交付申請書
- ②広島県の不妊治療支援事業
承認決定通知書の写し
- ③不妊治療費助成申請に係る
証明書の写し
- ④不妊治療の治療費の領収書
の写し
- ⑤印鑑

問い合わせ
 保健医療課健康推進係
 ☎ 0824・73・1255

広告

**一人で悩まないで
 まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
- 詳しくはホームページに書いています。

司法書士 飯田 一生 庄原 司法書士

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属)
 (司法書士登録番号828号)
 〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナッシュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

人の動き 平成26年6月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 38,579人(前年比-522人)
男 18,255人(前年比-241人)
女 20,324人(前年比-281人)
世帯数 15,953世帯(前年比-30世帯)
【うち外国人】人口 303人(前年比+26人)

献血のご案内 保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。
400ml 献血限定です。皆さんのご協力をお願いします。

Table with 3 columns: 実施日, 会場, 受付時間. Rows for 8月12日(火) and 9月4日(木).

市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口をお願いします。
残高確認も忘れないでください。
●税務課収納係 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

ロビーコンサート 生涯学習課 ☎0824-73-1188

とき 8月25日(月)12時15分~55分
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 魚住 恵 ピアノ独奏
曲目 ショパン作曲「幻想即興曲」
ドビュッシー作曲「垂緑色の髪乙女」
ほか
▶魚住 恵…エリザベト音楽大学卒業、専攻科修了。ベルギー王立ブリュッセル音楽院上級課程を、栄誉賞を得て修了。エリザベト音楽大学博士学位取得。現在、同大、広島文教女子大学非常勤講師。ソロ・コンサートをはじめオーケストラとの共演。朗読とのコラボコンサートなど国内外で幅広く活動中。広島市在住。

広報日記
昔の栄光を知る年配の人にとって「比婆牛」は誇りであり、復活を望む声根強くありました。ただ、若い人の中には「比婆牛」と聞いても、ピンとこない人がいます。それは比婆牛が広島牛ブランドに統一され、約30年もの歳月が流れたことにあります。そうした時間を埋めていくために、和牛産地庄原の底力が試されると思われます。特集の中でも記述しましたが、市民が比婆牛のことをもっと知り、応援することが必要だと思います。それには、まずは食べることから。お盆恒例のバーベキューは、ぜひ比婆牛でどうぞ。(奥)

食育コーナー 児童福祉課 ☎0824-73-1192

『楽しく食べる元気な子』

庄原市立保育所では、『食は保育の一環』として国が示す保育所保育指針と食育基本法を踏まえ、「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標に、0歳児から就学前まで発達に添った『食育』に取り組んでいます。
目指す子ども像として、①おなかやすくりズムが持てる子ども②食べものを話題にする子ども③食べたいもの、好きなものが増える子ども④食事作り、準備に関わる子ども⑤一緒に食べたい人がいる子ども一を掲げ、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ねています。

高保育所の取り組み

高保育所では本年度『楽しく食べる元気な子～食べる事は生きること、しっかり遊んでお腹をすかせよう～』をテーマに、日々の屋外活動を充実させています。また、菜園活動やクッキング、給食試食会、特別な配慮を含めた一人一人の子どもへの対応(体調不良の子や食物アレルギーの子など)、保護者への食育に関する発信を継続して行っています。菜園活動は保育所内だけでなく、地域の皆さんに指導を受けながら、近くの畑にサツマイモやとうもろこしと一緒に植え、成長を見たり収穫をしたりしています。秋には、地域の皆さんを招いての交流会を行い、子どもたちがクッキングをして楽しいひとときを過ごします。

子どもたちの中には野菜嫌いもありますが、自分たちが植えた野菜の成長を見ながら「これは僕が植えたんだよ。私が植えたのがこんなに大きくなっているよ」と興味を持ち、収穫して食べることで、食べたいものや好きなものが増えてきています。



「おじいちゃん、これでいいん？」と植え方を教えてもらっています。

また、保育所の給食は野菜がたくさん使われており、野菜が苦手だった子も「給食おいしい!」と自分から食べるようになってきています。「しっかり遊んでしっかり食べ、元気な子どもになってほしい」と願って『食育』に取り組んでいます。



「今年もとうもろこしやさつまいもがいっぱいできますように」と願いを込めて...

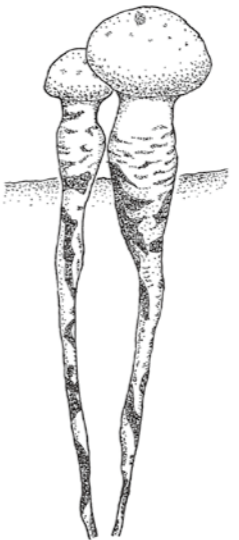
しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
★出店者募集中!あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは交流サロンラッキー ☎0824-72-0075 まで
とき 9月9日(火) 9時~13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはHPで http://kunchi-ichi.main.jp

比和自然科学博物館 ☎0824-85-3005 開館:9時~17時(年末年始休館)

●モグラシリーズ(1) モグラとキノコの不思議

十数年前、博物館友の会の行事「キノコ観察会」に参加したときのことです。白くきれいなキノコを発見したので、採ろうと思いましたが、なかなか採れないのです。指で掘ってみると、そのキノコは地中に根を長く伸ばしているのです。とうとう引きちぎって持ち帰りました。



ナガエノスギタケ

このキノコは、モグラのトイレから生えてくるナガエノスギタケ(別名モグラノセッチンタケ)だったのです。モグラは地面の少し深いところに巣を作っていて、巣の近くにはトイレを作っています。休む前と起きたときには必ずトイレに行くそうです。トイレがいっぱいになると、別の場所に新しく作ります。そうしたとき、古いトイレに菌糸を持った木の根が伸びてくると、そこでキノコが発生します。そして、モグラの排泄物を分解し、栄養にして成長するという不思議なキノコです。すると、古いトイレは浄化された状態になり、また利用することができるのです。今、人間が四苦八苦して取り組んでいる循環社会をモグラたちはとっくの昔に手に入れていたのです。

菌糸を持った木の根の主は、ブナ科・カバノキ科・ヤナギ科の樹木です。広葉樹林にはどこにでもある樹木ですので、あなたの回りの林の中でもナガエノスギタケを見つけることができるかも知れません。秋に発生し、食べることができます。

博物館ではモグラの巣を標本にしたいと思っていますので、発見された場合はお知らせいただければ幸いです。ナガエノスギタケは博物館に標本を展示していますので、ぜひ見に来てください。(館長)

犬・猫の引き取り 環境政策課 ☎0824-72-1398

8月・9月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。手続きには認印が必要です。持参してください。

Table with 4 columns: 地域, 引き取り日, 時間, 場所. Rows for 庄原地域 and 東城地域.

※飼い犬・猫の引き取り(有料)を希望する方は、必ず事前に広島県動物愛護センター(☎0848-86-6511)に連絡し、承諾を得てください。

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX(西本町二丁目1番21号)

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

刺し子作品展
とき 9月8日(月)~10日(水)10時~16時
◎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
◎商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

- 8月~9月のイベント情報
▶ゆめさくら講座
◎草木染め教室~麻を染めよう~
とき 8月25日(月)
午前の部 9時~12時
午後の部 13時30分~15時30分
参加費 4,900円 定員 各12人
◎かずら教室
①「三角コーナー(午前の部)」
②「タペストリー掛け(午後の部)」
とき 8月22日(金) ①9時30分~12時 ②13時30分~16時
参加費 ①2,500円 ②1,300円
定員 各10人
「夏休み工作」
とき 8月23日(土)・24日(日) 10時~15時
◎山野草寄せ植え教室
とき 9月3日(水) 10時~12時
参加費 3,300円 定員 10人
◎苔玉教室~秋に向けての寄せ植え~
とき 9月11日(木) 10時30分~12時 13時30分~15時30分
参加費 2,300円 定員 20人
▶展示&イベント
◎ちくちくはうす展示会
とき 8月21日(木)~31日(日)

休日診療のご案内

8・9月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日:日曜・祝日・年末年始
◎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155(保健医療課)
●東城地域

Table with 3 columns: 日, 病院名, 電話番号. Rows for 8月10日(日) through 9月7日(日).

乗りんさい

芸備線

VOL.14

備後落合駅



▲午後2時31分から3分間だけ3両が揃う (平成26年7月24日撮影)

鉄道ファンの間では全国にその名を知られる備後落合駅。昭和10年12月20日、備後西城〜備後落合間の開通に伴い開業しました。
木次線との接続もあり、かつては多くの旅客で賑わいを見せ、職員も大勢いたと言いますが、今は無人駅となり、ゆるやかな時間が流れています。
広い駅の構内には、所々に往時を偲ばせる構造物が残っています。ホームに立つて感じる独特の愁いが、この駅が人を惹きつける秘密なのかもしれません。

昼下がりの備後落合駅に行ってきました。鉄道ファンの間では有名な駅ということで、午後2時台に3方向から来る列車が揃うと聞いたので、興味が湧き、カメラを持って行ってみました。

駅に着くと閑散としていましたが、心地良い風が吹いていました。しばらくすると、まず黄色いディーゼルカーが一両やって来ました。これは木次線です。

続いて、新見からオレンジの線が入ったディーゼルカー。少しして、庄原から紫の線が入ったディーゼルカーがやってきて、3両が揃いました。

それぞれに結構お客さんが乗っていて、ちよつと賑やかになりました。カメラを持って駅や車両の写真撮る人が多くいました。

間もなく、一両、また一両と発車していき、あつという間に元の閑散とした駅に戻りました。駅にはまた、心地よい風が吹いていました。

杉谷美和紀 (口和町)

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたいくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文(100文字程度)乗車体験記(2000字程度)を郵送またはメールでお送りください。

応募先
〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール
koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します!

Cafe de KURA カフェ・ド・クラ

登録第35号店

所 東城町東城 250-5
☎ 08477-3-0588
営 11:00~16:00, 18:00~22:02
休 水曜日
HP http://ebisu-tojo.com

取り扱う市内産食材

米、ベビーリーフ、じゃがいも、大豆、りんご、ブルーベリー、いちご



●店長の田邊裕二さんに聞きました。

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか?

他店が広報紙に載っているのを見て登録しようと思いました。

お店の推進店としてのこだわりは?

食材を生で食べていただくことはもと

より、一次加工、二次加工することによって、さらに長期間食べられるように工夫しています。

また、それらの食材を使った特産品作りに力を入れています。

皆さんへ言

野菜を使ったスイーツをぜひ食べに来てください。



▲地産産大豆使用豆乳チーズケーキ

『庄原地産地消推進店』に登録しませんか? 市は随時、地産地消推進店を募集しています。

詳しくは、保健医療課健康推進係 (☎ 0824-73-1255) まで。